

地下水バイパス揚水井の汲み上げにおける一時貯留タンク に対する評価結果について(その2)

<参考資料>
2022年2月22日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【各揚水井のトリチウム濃度】

トリチウム濃度 (Bq/L)	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6	No. 7	No. 8	No. 9	No. 10	No. 11	No. 12	No. 10揚水井 運転状況
2015. 11. 12 (木)	6.9	/	12	/	50	/	37	/	採水なし	2000	720	/	汲み上げ中
2015. 11. 16 (月)	/	8.4	/	24	/	66	/	採水なし	/	2800	/	220	汲み上げ中
2021. 12. 30 (木)	13	/	40	/	19	/	20	/	120	350	440	/	汲み上げ中
2022. 1. 3 (月)	/	24	/	17	/	21	/	60	/	350	/	170	汲み上げ中
2022. 1. 6 (木)	15	/	39	/	※2	/	26	/	140	350	450	/	汲み上げ中
2022. 1. 10 (月)	/	22	/	18	/	18	/	63	/	340	/	170	汲み上げ中
2022. 1. 13 (木)	※2	/	32	/	20	/	24	/	120	350	460	/	汲み上げ中
2022. 1. 27 (木)	14	/	43	/	※2	/	25	/	120	360	490	/	汲み上げ中
2022. 1. 31 (月)	/	20	/	15	/	16	/	56	/	360	/	180	汲み上げ中
2022. 2. 3 (木)	16	/	44	/	24	/	24	/	120	380	480	/	汲み上げ中
2022. 2. 7 (月)	/	22	/	14	/	18	/	60	/	360	/	180	汲み上げ中
2022. 2. 10 (木)	14	/	47	/	24	/	27	/	120	380	490	/	汲み上げ中
①2022. 2. 14 (月) ※1	14	22※3	47	14※3	24	17	27	67	120	370	490	180	汲み上げ中
②トリチウム上昇傾向評価用	14	22	47	14	24	17	27	67	120	1170	490	180	

※1 No. 10以外については隔回でサンプリングを実施しており、サンプリングの無い週は前週の濃度に基づいて評価している。

※2 汲み上げ停止等に伴いサンプリングを中止しており、当該ピットの濃度を一時貯留タンクの濃度評価に用いていない。

※3 汲み上げ停止等に伴いサンプリングを中止していたため、至近の結果を用いて評価している。

【各揚水井の汲み上げ比率】

	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6	No. 7	No. 8	No. 9	No. 10	No. 11	No. 12	計
③ 汲み上げ比 ※4	0.30	0.12	0.15	0.13	0.00	0.02	0.02	0.07	0.09	0.07	0.00	0.02	1.00

※4 No. 1～12: 至近の汲み上げ実績をもとに算出。

(2/16(水)～2/17(木))

【評価結果(一時貯留タンクのトリチウム濃度)】

一時貯留タンク内
トリチウム濃度

2022. 2. 7 ※6	4.9	2.5	6.9	1.6	0.0	0.4	0.4	4.3	11.3	26.4	2.8	4.3	65.8
2022. 2. 10 ※6	4.1	2.7	7.2	1.8	0.0	0.4	0.6	3.9	10.8	26.7	2.0	4.1	64.4
2022. 2. 14 (①×③)	4.1	2.7	7.2	1.8	0.0	0.4	0.6	4.4	10.8	26.0	2.0	4.1	64.1
トリチウム上昇傾向評価用 (②×③) ※5	4.1	2.7	7.2	1.8	0.0	0.4	0.6	4.4	10.8	82.2	2.0	4.1	120.3

※5 「トリチウム上昇傾向評価用」とは、2015年の11/12から11/16までの上昇傾向が継続すると仮定したトリチウム濃度を設定し評価したものの。

※6 参考(前回、前々回評価結果)